

6 非正規雇用労働者の労働実態

(1) 非正規雇用労働者の労働実態

労働者の雇用形態をみると「正規雇用労働者」を雇用している事業所は 87.2%、「非正規雇用労働者」を雇用している事業所は 73.1%となっている。

正規雇用労働者の雇用形態のうち、「短時間正規雇用労働者」は 18.4%となっている。(表 18)

表 18 非正規雇用労働者の労働実態

区分	計	%		非正規雇用労働者	無回答・不明
		正規雇用労働者	うち短時間正規雇用労働者		
調査産業計	100.0 (468)	87.2 (408)	18.4 (86)	73.1 (342)	4.9 (23)
5～9人	100.0 (158)	77.2 (122)	12.7 (20)	60.1 (95)	8.9 (14)
10～29人	100.0 (187)	89.8 (168)	16.6 (31)	77.0 (144)	3.2 (6)
30～99人	100.0 (93)	95.7 (89)	26.9 (25)	83.9 (78)	2.2 (2)
100～299人	100.0 (25)	96.0 (24)	28.0 (7)	80.0 (20)	4.0 (1)
300～999人	100.0 (3)	100.0 (3)	33.3 (1)	100.0 (3)	0.0 (0)
1,000人以上	100.0 (2)	100.0 (2)	100.0 (2)	100.0 (2)	0.0 (0)
建設業	100.0 (28)	89.3 (25)	14.3 (4)	35.7 (10)	10.7 (3)
製造業	100.0 (60)	95.0 (57)	25.0 (15)	68.3 (41)	5.0 (3)
運輸業, 郵便業	100.0 (18)	88.9 (16)	16.7 (3)	77.8 (14)	5.6 (1)
卸売業, 小売業	100.0 (80)	88.8 (71)	12.5 (10)	77.5 (62)	3.8 (3)
金融業, 保険業	100.0 (17)	100.0 (17)	11.8 (2)	52.9 (9)	0.0 (0)
宿泊業, 飲食サービス業	100.0 (27)	66.7 (18)	3.7 (1)	77.8 (21)	3.7 (1)
教育, 学習支援業	100.0 (23)	87.0 (20)	13.0 (3)	87.0 (20)	4.3 (1)
医療, 福祉	100.0 (133)	88.0 (117)	24.8 (33)	79.7 (106)	4.5 (6)
サービス業(他に分類されないもの)	100.0 (48)	87.5 (42)	20.8 (10)	66.7 (32)	2.1 (1)

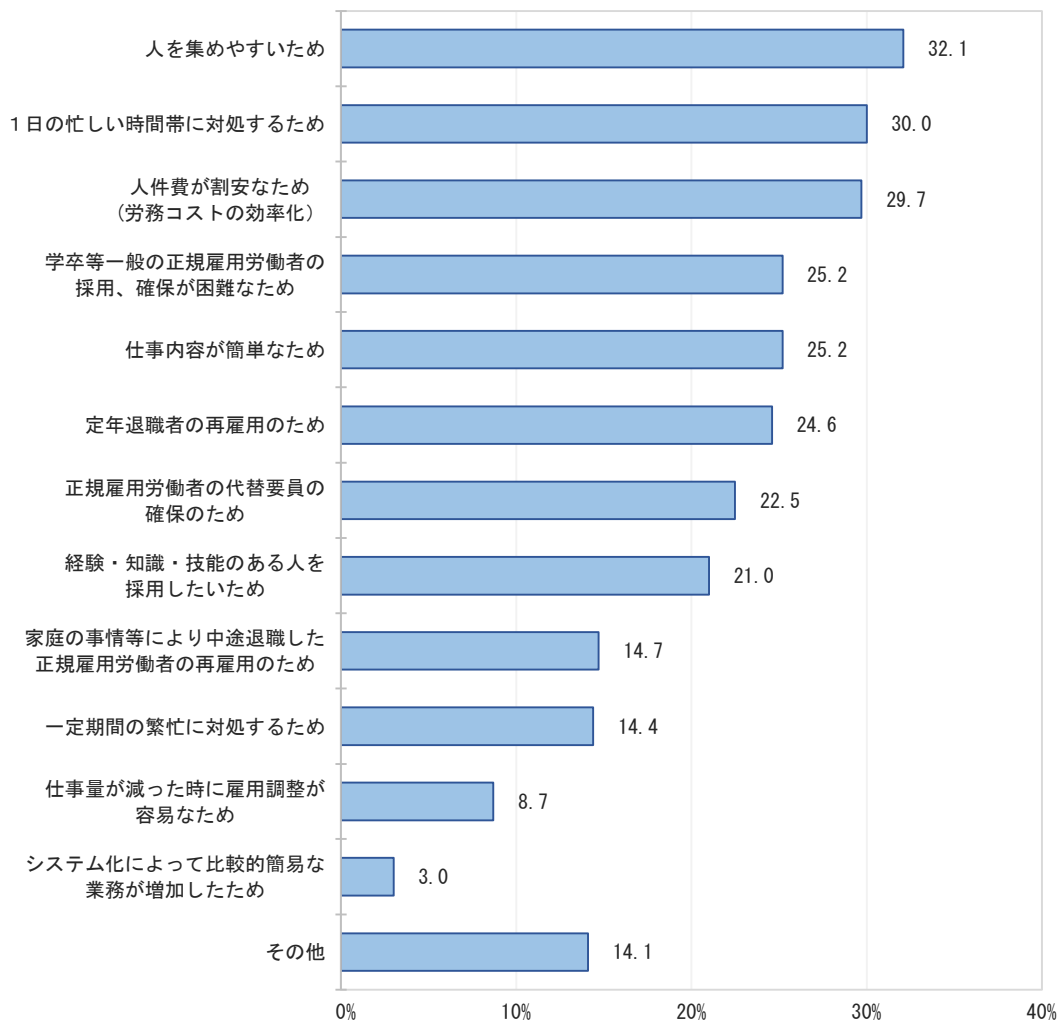
※企業規模 300 人～999 人、1,000 人以上はサンプル数が 10 以下のため誤差が大きいことに留意が必要

※サンプル数が 10 以下の業種については、誤差が大きいと思われるので割愛

(2) 非正規雇用労働者を雇用している理由

非正規雇用労働者を雇用している理由については、「人を集めやすいため」が 32.1%と最も高く、次いで「1日の忙しい時間帯に対処するため」が 30.0%となっている。(図 34)

図 34 非正規雇用労働者を雇用している理由



(3) 非正規雇用労働者の平均的な残業時間

非正規雇用労働者の平均的な残業時間についてみると、1～9時間が36.3%と最も多くなっている。一方で、80時間以上残業している事業所も0.6%ある。(表19)

表19 非正規雇用労働者の平均的な残業時間

区分	0時間	1～9時間	10～19時間	20～29時間	30～39時間	40～49時間
調査産業計	49.4 (169)	36.3 (124)	5.3 (18)	1.8 (6)	0.6 (2)	1.2 (4)
5～9人	69.5 (66)	23.2 (22)	3.2 (3)	1.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
10～29人	49.3 (71)	34.0 (49)	4.2 (6)	1.4 (2)	1.4 (2)	2.1 (3)
30～99人	38.5 (30)	44.9 (35)	7.7 (6)	2.6 (2)	0.0 (0)	1.3 (1)
100～299人	10.0 (2)	70.0 (14)	15.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
300～999人	0.0 (0)	66.7 (2)	0.0 (0)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
1,000人以上	0.0 (0)	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
建設業	60.0 (6)	40.0 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
製造業	46.3 (19)	29.3 (12)	12.2 (5)	4.9 (2)	0.0 (0)	2.4 (1)
運輸業, 郵便業	78.6 (11)	21.4 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
卸売業, 小売業	50.0 (31)	33.9 (21)	1.6 (1)	3.2 (2)	0.0 (0)	1.6 (1)
金融業, 保険業	44.4 (4)	11.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	11.1 (1)	0.0 (0)
宿泊業, 飲食サービス業	71.4 (15)	19.0 (4)	9.5 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
教育, 学習支援業	40.0 (8)	35.0 (7)	5.0 (1)	0.0 (0)	5.0 (1)	0.0 (0)
医療, 福祉	41.5 (44)	49.1 (52)	5.7 (6)	0.9 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
サービス業(他に分類されないもの)	59.4 (19)	28.1 (9)	3.1 (1)	3.1 (1)	0.0 (0)	3.1 (1)

区分	50～59時間	60～69時間	70～79時間	80時間以上	無回答・不明	計
調査産業計	0.0 (0)	1.5 (5)	0.3 (1)	0.6 (2)	3.2 (11)	100.0 (342)
5～9人	0.0 (0)	0.0 (0)	1.1 (1)	1.1 (1)	1.1 (1)	100.0 (95)
10～29人	0.0 (0)	2.1 (3)	0.0 (0)	0.7 (1)	4.9 (7)	100.0 (144)
30～99人	0.0 (0)	2.6 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	2.6 (2)	100.0 (78)
100～299人	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	5.0 (1)	100.0 (20)
300～999人	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
1,000人以上	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (2)
建設業	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (10)
製造業	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	4.9 (2)	100.0 (41)
運輸業, 郵便業	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (14)
卸売業, 小売業	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	1.6 (1)	8.1 (5)	100.0 (62)
金融業, 保険業	0.0 (0)	11.1 (1)	11.1 (1)	0.0 (0)	11.1 (1)	100.0 (9)
宿泊業, 飲食サービス業	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (21)
教育, 学習支援業	0.0 (0)	10.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	5.0 (1)	100.0 (20)
医療, 福祉	0.0 (0)	0.9 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	1.9 (2)	100.0 (106)
サービス業(他に分類されないもの)	0.0 (0)	3.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (32)

※企業規模 300人～999人、1,000人以上はサンプル数が10以下のため誤差が大きいことに留意が必要

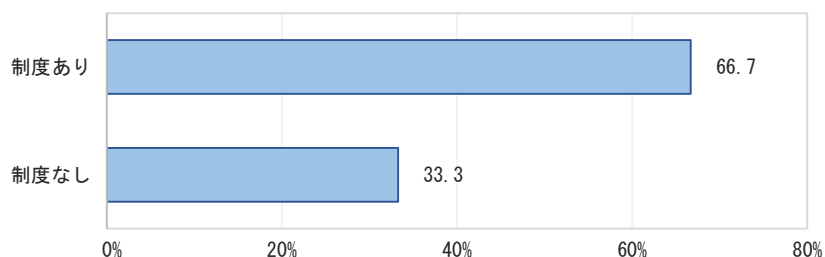
※サンプル数が10以下の業種については、誤差が大きいと思われるので割愛

(4) 非正規雇用労働者から正規雇用労働者への転換

①非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する制度の有無

非正規雇用労働者が正規雇用労働者に転換する制度については「制度あり」が66.7%となっている。(図 35)

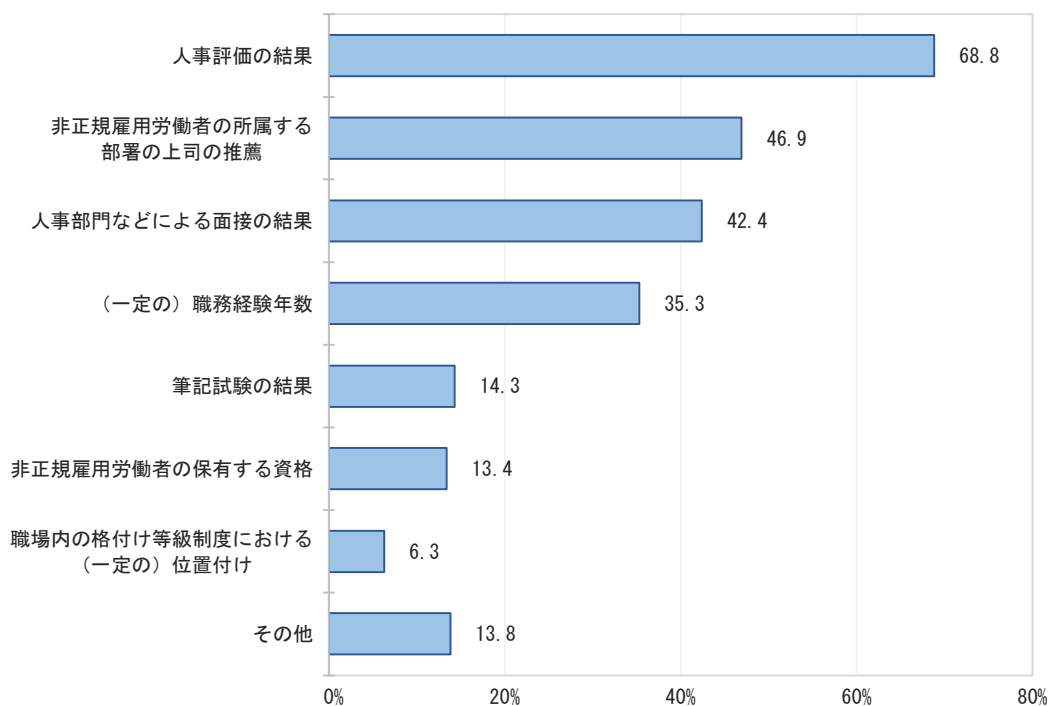
図 35 非正規雇用労働者が正規雇用労働者に転換する制度の有無



②非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際の基準

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する基準についてみると「人事評価の結果」が68.8%と最も高く、次いで「非正規雇用労働者の所属する部署の上司の推薦」が46.9%となっている。(図 36)

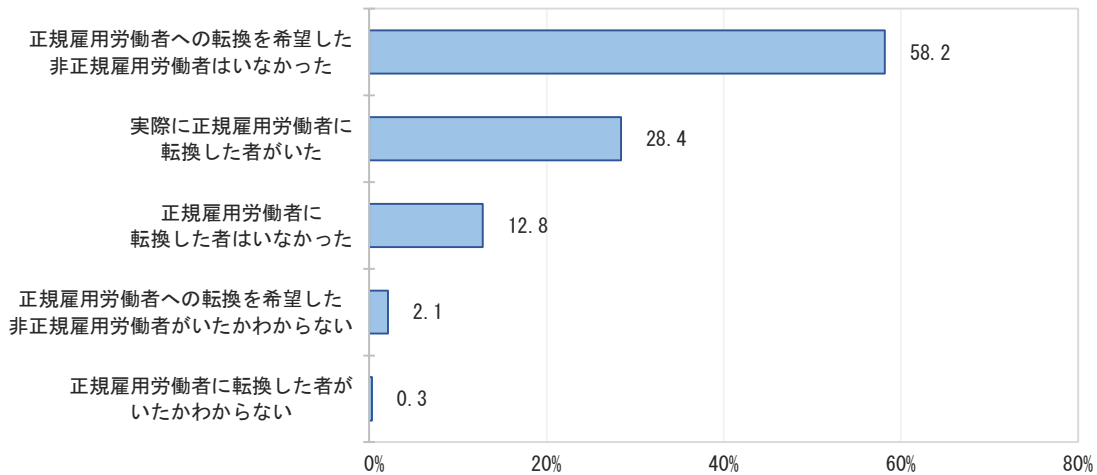
図 36 非正規雇用労働者が正規雇用労働者に転換する際の基準 (複数回答)



③過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績

非正規雇用労働者が正規雇用労働者に転換した実績については「正社員への転換を希望したパートタイム・有期雇用労働者はいなかった」58.2%となっている。次いで、「実際に正規雇用労働者に転換した者がいた」が28.4%となっている。(図37)

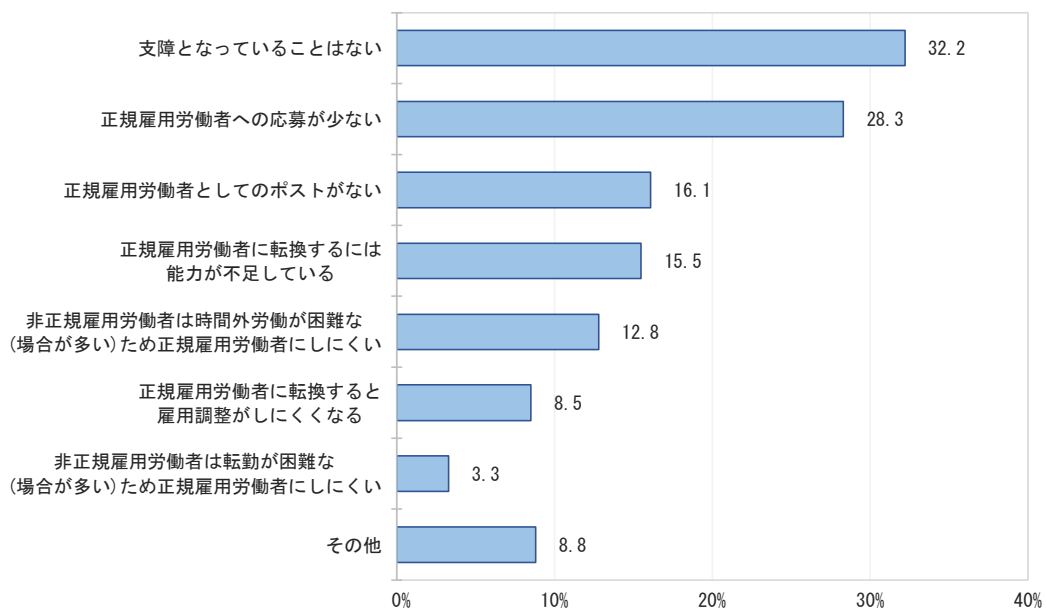
図37 過去3年間に非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換した実績（複数回答）



④非正規労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていること

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていることについてみると、「支障となっていることはない」が32.2%と最も多く、次いで「正規雇用労働者への応募が少ない」が28.3%となっている。(図38)

図38 非正規労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていること



⑤非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に不足している能力

非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に支障になっていることは、「就業意欲」が68.6%と最も多く、次いで「業務経験・ノウハウ」が60.8%となっている。(図39)

図39 非正規雇用労働者から正規雇用労働者に転換する際に不足している能力

